

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年	
45001	X-33-B-2-440015	2	前期	【1年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×	
				【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース				
授業科目	担当教員			【2年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×	×
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	専門	必修	2年	
				【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×	×
		【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×	×		

授業目的

携帯端末やコンピュータで利用されているオペレーティングシステムには様々な種類があるが、それらの基本的な概念（資源管理、制御など）は共通している。この授業では、オペレーティングシステムが担うプロセス管理、メモリ管理、ファイル管理などの主要な機能とその役割について学ぶ。また、汎用言語プロセッサを広義のオペレーティングシステムの一部と捉えることで、言語処理系の基本についても学ぶ。この授業を通して、情報技術の利活用を修得し、仕事や生活に活用することを学ぶ。

各回毎の授業内容

第1回 【授】授業の進め方、オペレーティングシステムの概要 【前・後】【予習1時間】：教科書の目次を眺めておく。【復習2時間】：教科書の該当部分を読んでおく。講義資料を使って復習する。 第2回 【授】プロセス管理1 【前・後】【予習1時間】：教科書の該当部分を読んでおく。【復習2時間】：講義資料を使って復習する。 第3回 【授】プロセス管理2 【前・後】【予習1時間】：教科書の該当部分を読んでおく。【復習2時間】：講義資料を使って復習する。 第4回 【授】プロセスの同期 【前・後】【予習1時間】：教科書の該当部分を読んでおく。【復習2時間】：講義資料を使って復習する。 第5回 【授】プロセス間通信 【前・後】【予習1時間】：教科書の該当部分を読んでおく。【復習2時間】：講義資料を使って復習する。 第6回 【授】実記憶管理1 【前・後】【予習1時間】：教科書の該当部分を読んでおく。【復習2時間】：講義資料を使って復習する。 第7回 【授】実記憶管理2 【前・後】【予習1時間】：教科書の該当部分を読んでおく。【復習2時間】：講義資料を使って復習する。 第8回 【授】仮想記憶管理1 【前・後】【予習1時間】：教科書の該当部分を読んでおく。【復習2時間】：講義資料を使って復習する。	第9回 【授】仮想記憶管理2 【前・後】【予習1時間】：教科書の該当部分を読んでおく。【復習2時間】：講義資料を使って復習する。 第10回 【授】仮想記憶管理3（レポート課題1） 【前・後】【予習1時間】：教科書の該当部分を読んでおく。【復習2時間】：講義資料を使って復習する。【レポート3時間】：レポート課題1回目 第11回 【授】ファイルシステム 【前・後】【予習1時間】：教科書の該当部分を読んでおく。【復習2時間】：講義資料を使って復習する。 第12回 【授】割り込み処理、全体のまとめ 【前・後】【予習1時間】：教科書の該当部分を読んでおく。【復習2時間】：講義資料を使って復習する。【試験対策9時間】 第13回 【授】情報システムの基盤としてのさまざまなオペレーティングシステム（レポート課題2） 【前・後】【予習1時間】：配布資料を眺めておく。【復習1時間】：講義資料を使って復習する。【レポート1時間】：レポート課題2回目 第14回 【授】言語処理プログラムの種類と構造 【前・後】【予習1時間】：配布資料を読んでおく。【復習2時間】：講義資料を使って復習する。 第15回 【授】言語処理プログラムにおける字句解析と構文解析（レポート課題3） 【前・後】【予習1時間】：配布資料を読んでおく。【復習2時間】：講義資料を使って復習する。【レポート3時間】：レポート課題3回目 第16回 【授】定期試験
--	---

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							70
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート							30
授業態度・授業への参加							
成果発表（口頭・実技）							
演習							
その他							

- ・成績は自己学習によるレポート課題（3回実施）と期末試験とにより評価する。
- ・レポート課題は採点後に返却し解説を行う。
- ・試験では講義に沿った問題を出題する。持ち込みは不可とする。

教科書参考書

第1回から第12回の内容
 教科書 オペレーティングシステムの基礎 大久保英嗣、サイエンス社（1997） 1600円＋税
 第13回から第15回の内容
 別途資料を配布

受講に当たっての留意事項

- ・専門用語が多く出てくるが、意味のわからない用語は必ず調べておくこと。
- ・第13回、第14回、第15回の内容は、予定より早い時期に実施することがある（授業などで告知する）。

学習到達目標

- ・オペレーティングシステムの基本を理解し、諸機能の役割を習得する（試験60%、レポート15%）。
- ・具体的なオペレーティングシステムの種類や利活用方法を理解する（レポート10%）。
- ・コンパイラの仕組みを学習し、プログラミングを支える基本的な知識を習得する（試験10%、レポート5%）。

JABEE

関連する学習・教育到達目標：E、G

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習